

びとう和広後援会ニュース

2006.4.21

第 10 号

発行責任者
長谷川満敏



2006年度後援会総会開催！

日頃より、皆様の力強いご支援・ご協力をいただいておりますことに、改めて御礼申し上げます。

国政では給与所得者の定率減税が廃止され、障害者自立支援法の成立、介護保険法の見直し、医療費の見直しなど、弱者や取り易いサラリーマンの負担増がどんどん加速しているこのごろです。

三田市では、3月議会も終わり、平成18年度予算も無事可決されました。人口減少期を迎え、成長から成熟期への過渡期としてとても重要な局面を迎えております。

そんな中、2月21日三田市が誕生して初めての100条委員会が発足されました。キッピーモールのオープンにあせった結果、不透明なお金の流れにより解決を図った事件です。助役解職、部長・次長が自ら辞職する結果となりました。法令順守の規範となるべき市幹部の安易な考え方が、税金という皆様の血と汗の結晶が使い方として議員はじめ市民に否定されたのです。今後とも、気を引き締めた市政運営を求めて参ります。

4月7日、「2006年度後援会定期総会」を開催し、昨年度の活動報告と今年度の計画審議・承認を頂きました。特に今年度は皆様の声を出来る限り直接お聞きいたしたく、全戸訪問やミニ集会をはじめ、8月にはビアパーティー、11月にはボウリング大会を企画しております。ぜひ、皆様のお考え・ご要望をお聞かせ下さい。

本年度も、市民サービスの一層の向上、「安心・安全」、「活気・活力」の元気なまちづくりに向け、力一杯頑張ってお参ります。皆様の、力強いご支援を、何卒よろしくお願いたします。



三田市議会議員 **びとう** かずひろ **和広**

議会活動

平成18年度予算特別委員会 3/14～3/16

概要

総予算780億、一般会計417億、経常収支比率97%、今年度の882億・451億から1割前後の緊縮予算が可決されました。縮小される予算に対し、本当にカットしても良い事業か？キッピーモールの不明朗会計など、法令順守の精神やもっと真摯に使いみちの検討を指摘しました。また、市財政は危機であり、中長期財政計画の抜本の見直しと、徹底した事務事業効率化を定着させることを訴えました。

(問)市の法令順守の考え方と市長の姿勢

<答>法令順守は市職員の大前提である。キッピー解明は予算委員会が終わればすぐに対策する。

(問)三位一体改革による市の影響

<答>トータルで4億歳入増となった。

(問)指定管理にシルバー人材を用いることの問題(これからの団塊世代のシルバー化を考えると、ただの作業の受け皿では限界があり、シルバー自体の提案・開拓する力を養っていくべきである。)

<答>今回の指定管理者は3年間の指名であり、時間をかけ、仕組みや業務を整備し、シルバーと若者の最適な住み分けを図る。

(問)行革断行プランの進め方と説明責任(ゴミ袋の値上げは急激で、段階や説明責任を果たすべき)

<答>H20年からの施策なので、しっかりと説明し、了解を得ながら進めていく。

3月議会(第284回定例会) 2/21～3/28

概要

今回は、行財政改革断行プランと補正予算が中心。

- ・補正予算は不要費(未使用予算)の処理。
駅前商業棟の運営管理会社である第3セクター「地域振興株式会社」の資金運用疑惑に調査特別委員会(百条委員会)の立上げが可決され、三田市始めて以来の委員会設置となりました。

1～4月の活動

委員会

- 2/_6(月)健康福祉審議会(介護保険対応の答申書)
- 2/_6(月)文化センター新庁舎特別委員会
- 3/_8(水)経済建設常任委員会(駐車/輪場の指定管理者としてシルバー人材を指名)
- 3/_9(木)健康福祉審議会(内容確認し市長に答申)

行事出席

- 1/_5～1/19 旗開き(連合兵庫/北阪神/三田など)
- 1/_9(土)成人式(今回は駒が谷体育館)
- 3/13～4/11 市立幼稚園・小/中学校の卒/入/式典
- 3/24(金)三田本町商店街信号機点灯式

平成十八年度予算委員会、市長に、緊迫財政の中、集中と選択の考えを質しました。



道路開通から半年。3月24日
本町商店街に待望の信号機設置！
安心して、横断できます！



満開の桜並木の中、
建設の進む「文化センター」
(平成19年秋予定)



満開の桜の中、194名が入学！
八景中の入学式に出席しました。
目標を持ち有意義な学生生活を！



介護予防の一環として、月2回
中高年向け元気な体作り教室
の開催を支援しています。



調査報告

今回は、平成22年までに52億円削減する三田市行財政改革断行プラン（行革断行プラン）を検証しました。

表1: 三田市中期財政収支見通し(普通会計・一般財源ベース) (単位: 億円)

区分	H16決算	H17見込	H18	H19	H20	H21	
歳入	市税	168	166	167	172	173	173
	地方譲与税・交付金	28	30	35	29	30	30
	地方交付税	32	28	28	28	28	28
	財政対策債	18	14	13	13	13	13
	繰入金(減債基金)		1	1	5	5	3
	繰入金(財政調整基金)	1	5	5	6	6	6
	その他(諸収入など)	3	2	4	4	4	2
歳入計(A)	250	246	253	257	259	255	
歳出	義務的経費(固定費)	125	126	129	129	132	130
	行政的経費(補修費等)	70	75	75	75	73	74
	繰出金	24	24	26	26	26	26
	投資的経費	27	21	23	27	28	25
	歳出計(B)	246	246	253	257	259	255
行革断行プラン効果額(単年)	-	1.9	3.6	6.2	2.5	4.5	五カ年計
行革断行プラン効果額(積上)	-	1.9	5.5	11.7	14.2	18.7	52.0

三田市の緊迫財政

前回三田市の人口問題を取り上げましたが、その影響に財政問題があります。

全国的にも、同様に財政問題はあるのですが、三田市は急激な人口増加に対応するため、学校などの建物や道路整備を行なった支払はこれからがピークです。団塊の世代の定年を迎える3年後から、市民税減により一気に財政状況が悪くなってしまいます。

そこで、市として行財政改革を進めています。

平成22年度までに52億削減を目標に、計画を立てたものが、業革断行プランとして、今回の3月議会に提出されました。

(表1: 三田市中期財政収支見通し 参照)

市税は財源委譲で若干の増となりますが、地方交付税の減額・義務的経費(人件費や建物の償却など固定的に支払う費用)の増加が見込まれるため、先を見たスリム化が必要です。

国庫支出金や県支出金など国や県に依存する財源が三位一体改革で削減されていく現状の中で、一般財源部分での節約はとても大切ですし、確実に進めていかなければなりません。

下の表を見てください。(表2: 三田市行革断行プラン: 効果額集計表 参照)

1. 事務事業の見直し

保育所や放課後児童クラブの値上げ、各種福祉金、ゴミ処理の有料化、各設備の光熱費の削減、広報誌の見直しによる廃刊・発刊回数減・ページ数の削減などにより 34.5億円

2. 定員管理・給与の適正化

指定管理者制度を始め、民間への移行と市職員の定年退職の不補充により 16.6億円

3. 民間活力活用による委託費の増分

指定管理者制度による民間への移行で支払い額分の費用を委託費として計上 0.6億円増

4. 公営企業会計

水道事業統合による人件費の削減 0.23億円

市民病院会計の経営健全化 0.72億円

市民病院の救急医療強化による業務改善と、特勤手当で見直し・人件費削減で 0.14億円

下水道事業の生活・公共の統合 0.40億円

皆様の生活に密着した部分の値上げが多く見られますが、三田市の将来を考えると応分の値上げはやむを得ないと考えています。現段階では、削減額ありきと感じられるものもありますが、実施年度までに、民間移行や人件費削減しても本質的に市民サービスの維持を大前提に、市民が納得できるようにしっかりと説明責任を果たしていただきます。また、税金の使いみちはしっかりと目を光らせます。皆様のご意見をお聞かせください。

表2: 三田市行革断行プラン: 効果額集計表 (単位: 百万円)

区分	H17見込	H18	H19	H20	H21	合計
1 事務事業の見直し	△ 165.2	△ 414.0	△ 885.5	△ 908.2	△ 1,076.5	△ 3,449.4
2 定員管理・給与の適正化	△ 13.6	△ 106.4	△ 249.4	△ 486.4	△ 801.5	△ 1,657.4
3 民間活力活用による委託費の増分	0.0	6.2	△ 5.6	8.2	51.7	60.5
4 公営企業会計	△ 15.4	△ 29.7	△ 29.7	△ 29.7	△ 36.9	△ 141.5
合計	△ 194.2	△ 544.0	△ 1,170.3	△ 1,416.2	△ 1,863.2	△ 5,187.9

(四捨五入の表示で合計が合わないところがあります)

市民相談・説明

今回は、現在三田市で新聞をにぎわせている「キッピーモール(三田駅前商業棟)の運用疑惑事件」と三田市設立以来初めての百条委員会の概要を説明致します。

キッピーモールの運用・管理のため、第3セクターとして、三田市30億円、公団27億円を出資し三田地域振興(株)を設立しました。社長・取締役には三田市長・助役が兼務し、委託中心に業務しています。

昨年9月15日キッピーモールは三田駅前活性化の期待を担って、堂々とオープンしました。

その際、入店テナントや一時的に三田シティオで仮営業していた地権者などの交渉において、オープンに間に合わせるため、市正規の承認を得ずに、また、正規では出金できない補償金を捻出するために、市職員も加わって架空契約したことが発覚しました。

この事件は12月議会での議員質問から始まり、議会と市当局の両方で調査委員会を立上げ、真相究明していました。しかし議会では通常の調査委員会では限界があるとして、2/21に百条委員会(*1)を立上げました。

4/26 現在で担当助役の解職、市長／担当外助役の減給・担当部／次長の停職(本人より退職願が提出・受理され、4/28 退職)、第3セクターも本部長・部長の解職・免職と大処分となりました。

今回の9/15オープンに向けた一生懸命さは理解できるものの、法令順守は大前提で、その手段選択の甘さはとても許せるものではありません。しかし、百条委員会を立上げ、「犯罪ありき」で騒ぎ立て、マスコミに途中情報を流していった議会の一部の人たちの行動は、元来の三田駅前活性化や三田市発展を考えたとき、決して良い行動とは思えません。議会は市政を正すとともに、三田市全体を活性化するのが任務と考えています。

(*1)百条委員会: 地方自治法第100条[罰則規定のある調査権]を発動したものです。これにより、証人喚問ができ、正規の理由がない欠席や証言拒否・偽証に対し告発できる権限が与えられる委員会です。

今年度の行事・事業

4月7日に開催の2006年度びとう和広後援会定期総会にてご審議・ご承認いただいた事業計画です。

皆様のご参加・ご協力よろしくお願い致します。

<後援会の行事・事業>

4月: 定期総会開催・ホームページ公開

5月: 地域市政報告会(三田・三輪地区)

6月: 支部主催潮干狩りへの協賛

7月: 第三回市政活動報告(構内対象)

: 三菱電機(三田)夏祭りでの後援会協賛
(スーパーボールすくいなど)

8月: 後援会主催ビアパーティ

10月: 地域市政報告会(フラワー・ウッディ地区)

11月: 後援会主催ボーリング大会

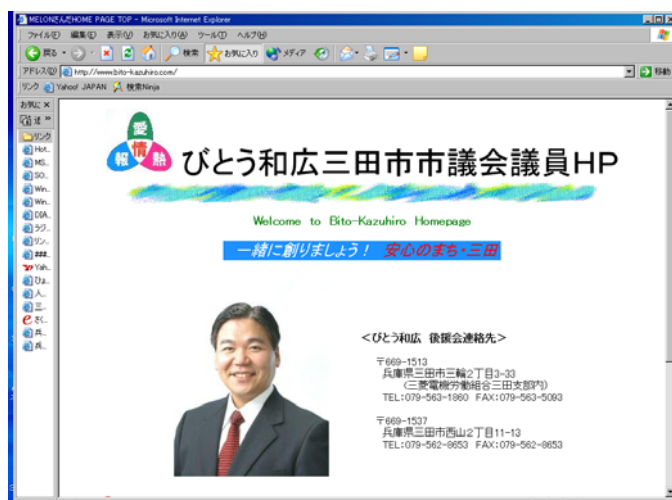
12月: 関連組織挨拶回り

1月: 第四回市政活動報告(構内対象)

3・6・9・12月が三田市議会の定例議会です。

4・7・10・1月に後援会ニュースを発行し、びとう和広が今年度中に1度は後援会全宅にお伺いし手配り致します。また、毎月ホームページを更新致しますので、皆様のご意見・ご要望をお聞かせ下さい。

<びとう和広ホームページのトップ>



(ホームページアドレス:<http://www.bito-kazuhiro.com>)

びとう和広後援会より

後援会会員の皆様方には、日頃より力強いご支援・ご協力を賜り、誠に有難うございます。心より厚く御礼申し上げます。

『びとう和広』は、議員になって一年半経ちました。今回、後援会の総会により、一年間の行事報告と新年度に向けた抱負を語りました。まだまだ未熟ではありますが、少しずつ成長しつつあると感じております。

後援会として、びとう和広のホームページを立ち上げました。活動を知っていただくとともに、皆様の声をびとう和広に送っていただければと存じます。

『びとう和広』は、皆様の声をお聞きし、何事にも一生懸命精進するとの決意で活動を進めて参ります。今年度も、旧倍のご指導・ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます、ご挨拶といたします

びとう和広後援会 会長 : 長谷川 満敏

【びとう和広 後援会 連絡先】

<連絡先> 〒669-1513 三田市三輪2丁目3番33号
三菱電機労働組合三田支部 気付
Tel: 079-563-1860 Fax: 079-563-5093

<自宅> 〒669-1537 三田市西山2丁目11番13号
Tel: 079-562-8653, Fax: 079-562-0730
<電子メール> bit@venus.dti.ne.jp
<ホームページ> <http://www.bito-kazuhiro.com>